

平成 22 年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群
	対象学科・専攻	情報工学科
情報処理 (Information Processing II)	担当教員	豊平隆之 (Toyohira, Takayuki)
	教員室	情報工学科棟5階 (Tel. 42-9090)
	E-Mail	toyohira@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 30回	
〔本科目の目標〕 1年次の情報処理 の講義に引き続き、実務上広く使われているCでのプログラミングを学ぶ。		
〔本科目の位置付け〕 本科目を修得した場合、プログラミングを使用する科目の基礎となる。		
〔学習上の留意点〕 教科書の基本的な例題、演習問題を中心に演習を進めていく。事前に机上で例題プログラムを予習し、練習問題に取り組むといった努力をしなければプログラミングの能力は身につかない。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 配列とポインタ --- 前期中間試験 ---	14 2	配列の宣言、配列の初期化、多次元配列を理解し、応用できる ポインタ、ポインタの宣言と初期化、ポインタ配列、ポインタ演算、ポインタと文字列や配列、void 型のポインタを理解できる 動的な大きさの配列を理解し、応用できる 授業項目 1 について達成度を確認する
2. 演算子 --- 前期期末試験 ---	14 2	算術演算子、前置演算子と後置演算子、代入演算子、比較・等価演算子、条件演算子、カンマ演算子、論理演算子、ビット演算子 sizeof、キャスト、ポインタ、メンバ等の演算子を理解し、応用できる 授業項目 2 について達成度を確認する
3. File(ファイル)入出力 --- 後期中間試験 ---	14 2	ファイルのオープン、書き込み、読み出しを応用できる テキストファイルを理解できる 授業項目 3 について達成度を確認する
4. 構造体 --- 後期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	14 2	構造体の定義、構造体変数の宣言を理解し、応用できる 構造体メンバ、構造体の代入を理解し、応用できる 列挙型の定義、列挙型変数の宣言を理解し、応用できる 授業項目 4 について達成度を確認する 試験答案の解説を行なうことで、誤った部分を理解する
〔教科書〕 C・C++入門 松林 勝志 他共著 森北出版		
〔参考書・補助教材〕 プログラミング言語C第2版 石田晴久訳 共立出版		
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験(70%) + 小テスト・レポート(30%) - 授業態度(20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEE との関連〕		